

No.2375 木曾御嶽山

日時： 7月28日(日) (前日夜出発) 車
参加： 岡本(L)、宮本、佐々木(記)

曇り時々晴れ、御嶽は人人人であった。本格的な季節か、お参りする講のバスツアーが本流、登山者は支流である。 非常な収容力のある無料駐車場は、真夜中にもかかわらずいっぱい。

新大阪PM10時出発、名神中津川から国道19号、県道256号で田の原登山口駐車場AM2時45分着(約5時間)。すでにヘッドランプが動きだしている、富士山並みか。我々は仮眠。

夜明けと人の動きに目覚めて、軽い朝食後出発。石の鳥居から見上げると人の連なりが山頂まで続いている。整備された広い道を抜け階段道を詰めると、いよいよ原生林とハイマツの登山道。

雲に見え隠れする朝日を右に見て、歩き始めてから約1時間で祠。程なく8合目石室(2470m)で一服、駐車場が7合目(2200m)との事。富士見石では残念ながら、富士が、どれがどれやら確認不能。本格的な岩場の道を9合目へ、雪渓と人人人。寒さで思わず長袖を着る。

王竜頂上(2937m)には立派な御嶽神社と頂上山荘がある。トイレに行き、剣ヶ峰へ向かうと広く開けた尾根道に冷たい風が通り、硫黄臭が漂う。白煙が地の底から吹き上がっている。

剣ヶ峰(御嶽山頂上3067m)へは最後の階段の登りが辛い。ここに御嶽神社本社と大きな山荘が控えている。たくさんの登山者の中、記念写真にちゃんと納まって早い昼食をちゃんと食す。中央、南アルプス、富士山、北アルプス乗鞍、槍穂連峰や白山が一望できるという、この山頂の今日の空模様はご機嫌斜めだが、山並を充分楽しんで山頂のおはち巡り(約1時間)に向かう。

神社左裏から36の童子石碑を伝って下り登りするおはち巡り道は、隠れるものが何も無いため天候変化に即影響される。ピリカンとガスと通り抜ける風がくるくると変わる。分岐から二の池に向かうと雪渓をかき崩すようにして大きな池が水をいっぱいに湛えている。小屋もある。

一服し、右の御嶽山頂には向かわず王竜頂上へ直進する。ピストンで下山する為、道は慣れたものだが登山者の列は続いており渋滞する。

9号目、8号目と休憩もそこそこに下山するが、昼前まだまだ登りのパーティーが頂上を目指す。途中、雷鳥の親子に出会いカメラを向ける余裕充分、山を楽しみながら駐車場着。

相変わらず車でいっぱいの駐車場を、1時半出発。途中、温泉で体をほぐし、帰阪。新大阪21時無事到着。岡本リーダー、行き帰りの運転ほんとうにありがとうございました。

<参考タイム>

7/27 新大阪22:00—名神、19号、256号—2:45田の原駐車場(仮眠)

7/28 田の原駐車場5:05—6:05祠—6:208合目石室—富士見石—6:559合目—7:50王竜頂上—8:40剣ヶ峰(御嶽山頂上)9:30—おはち巡り—南無36童子—10:18三の池分岐—10:25二の池—分岐—11:15王竜頂上—11:359号目—12:098号目—12:50田の原駐車場 帰阪(風呂) 21:00新大阪 <行動7:45>

